

# お客様へ大切なお知らせ

海産資源は本来、回復可能な資源で採れば無くなる石油と違い、魚が生まれ成長し増える量よりも少なく獲れば私たちは持続的に利用できます。

播州地方は、春の訪れを告げる風物詩として「生いかなご」があります。今年度の水揚げは非常に少なく報道等によると例年の約10分の1という漁獲高だそうです。そして10数年前までは1kg 1000円前後で販売できた「生いかなご」も需要の増加と資源の減少で年々価格は上昇を続け、今年は3000円以上と異常な高値となっています。

しかし売値3000円前後でも需要があるので漁獲はすすんでいます。

ヤマダストアは昔から「魚がいいね」と高く評価していただき、お客様、地域の漁師様・取引先様とともに今日があります。

しかし何よりも忘れてならないのは、今のヤマダストアがあるのは「瀬戸内の恵み」があつてこそだということです。

この大きな海の生態系サービスがなくてはヤマダストアの鮮魚は成り立ちません。ほんの10数年前まで山のように水揚げされていた瀬戸内の穴子も最近ではほとんど見かけなくなりメバルやガシラ、その他の瀬戸内の小魚も年々減少を続けています。そしてこの度、それらのことを踏まえた上でヤマダの鮮魚全従業員とも話し合いを続け、「こんな小さな規模のヤマダがしたところで意味がない」など様々な議論が飛び交いました。

本日16日より2017年度におけるヤマダストアでの「生いかなご」の販売を一時休止することになりました。

2000円・3000円でも支持して頂けるお客様は多数いらっしゃるのは我々も承知しており毎年の釘煮づくりを楽しみさされているお客様もヤマダには沢山いらっしゃるのも承知いたしております。

またこれで現状が反転するとも考えてはいませんが、しかし私たちが出来ることを出来る範囲ですることが重要だと考えています。

私たちが今後も持続的に「瀬戸内の恵み」を利用できるようにヤマダストアは

お取引先様と協力し、工夫と努力を続けてまいります。

何卒主旨をご理解の上、今までと変わりのないご愛顧を頂ければと思っております。長文となりましたが今後ともヤマダストアをよろしくお願い致します。

ヤマダストア株式会社

## 追伸

16日よりのヤマダでの「生いかなご」販売休止により、「生いかなご」の販売を止めたら釘煮のタレが大量在庫になっちゃう」と当社の加工食品バイヤーがとっても困っています……

そこで本日、釘煮以外にも使えるということでも在庫限りではございますが、釘煮のタレの半額大奉仕を致します。是非ご利用くださいませ。

なお加工分の「新子の釜揚げ」や「いかなご釘煮」は販売継続しておりますのでご安心ください

※くぎ煮のたれは店舗により品揃えが異なります。

西海醤油  
くぎ煮のたれ  
(500ml)

平常価格458円  
半額229円

ヤマイ  
くぎ煮のたれ各種  
(500ml)

平常価格428円  
半額214円

